

# 自動車地球温暖化対策実施方針

## 《 1 大規模荷主 》

事業者名	ヤマト運輸株式会社	事業所名	北東京主管支店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- ( 01 ) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	エコトラックと呼ばれるエネルギー、廃棄物、水資源の一元管理システムを導入し、全社の環境マネジメントを行っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	ボックスパレットによる積載量のコントロール・宅急便サイズの規格の設定			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 混載使の利用や共同輸配送の取組	方面別での積み合わせの実施			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送量及び積載率を考慮した適止車種での発注	方面別流動量の把握による適当な運行車の手配			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 01 ) 発注時間及び配送時間のルール化	発送締め切り時間の設定			○	○	○
05	計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 02 ) 道路混雑時の輸配送の見直し	全国ベース店(大型荷捌き所)での道路交通状況の把握			○	○	○

# 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- ( 03 ) 輸送単向の待ち時間の削減</p>	<p>事前のスケジュールに従った着車時間の管理</p>	○	○	○
<p>06 その他輸配送の効率化により輸送距離及び回数を削減する取組 ----- ( )</p>	<p>お客様の希望による置き配を導入し、再配達による走行距離の削減を推進している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 01 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>ハイブリッド車、EVなどの導入を推進している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 02 ) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>集配車の平均速度目標を20Km/hに設定し、安全運転、エコドライブの推進を行っている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 03 ) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>各車両ごとの燃費統計を基にエコドライブ、アイドリングストップなどの指導を行なっている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- ( 04 ) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>以前はエンジンによるコンプレッサー駆動式の冷凍庫、冷蔵庫搭載車両を使用していたが、現在は庫内壁面に内蔵した蓄冷板を外部電源によりエンジンを稼働させることなく予冷(約8時間)し、1日(約13時間)冷蔵、冷凍を可能にする仕組みの車両を導入し逐次更新している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ----- ( )</p>	<p>モーダルシフトとしては、鉄道コンテナ及び航空便の利用を行っている。2024年4月よりは自社所有の航空機を導入し長距離運行車両の削減を推進する。</p>	○	○	○

## 自動車地球温暖化対策実施方針

<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ..... ( )</p>	<p>自動ルート組システム※による走行距離の削減を行っている。(※事前登録を行った住所情報でルートを自動的に作成し、携帯端末に表示し効率的な配送をサポートする仕組み。)</p>	○	○	○
<p>11 その他の必要な取組 ..... ( )</p>	<p>以前はエンジンによるコンプレッサー駆動式の冷凍庫、冷蔵庫搭載車両を使用していたが、現在は庫内壁面に内蔵した蓄冷板を外部電源によりエンジンを稼働させることなく予冷(約8時間)し、1日(約13時間)冷蔵、冷凍を可能にする仕組みの車両を導入し逐次更新している。</p>	○	○	○